

令和2年度 富士メカニック専門学校 自動車整備科 国際自動車整備科 事業報告書

1. 定員と在籍者数（3月31日現在）

学 科 名	学年	学級数	定 員	学生数	備 考
自動車整備科	1	1	30	25	
	2	1	30	25	
国際自動車整備科	1	1	20	11	
	2	1	20	17	内1名日本人
合計		4	120	69	

2. 本年度の目標達成状況

(1) 数値

項 目	目標値	達成値	反省事項
本年度入学者数	45	97.7	オープンキャンパス参加者の減少
退 学 率 (%)	2.5	100.0	
留 年 率 (%)	0	100.0	
就 職 率 (%)	100	100.0	就職斡旋希望者比
出 席 率 (%)	97.0	97.9	留学生への指導が十分でなかった
試験合格率 (%)	100	100	国家試験は2種目とも卒業生全員合格

(2) 各種資格試験の合格状況

自動車整備士試験では二種目とも卒業生全員が合格し、100%の合格率と成った。

他の資格試験に付いても例年以上の結果を出しており、損害保険募集人資格に付いては初めての合格率100%と成った。

3. 授業、行事の状況 ※行事表を添付

通常授業に於いて、4月緊急事態宣言が全国に向けて発出されたため、休業とし学科授業のみを遠隔授業に切替て5月末まで行った。

実習授業に付いては、再開後の授業時間数を増やすと共に、夏休みを一週間短縮し実習授業を中心に行うことで遅れを取り戻した。

これにより国際自動車整備科1年の授業時間3時間の減少を除き予定どおりの授業回数を実施することが出来た。

新型コロナウイルス感染症防止の為、学外見学研修とレクリエーションが中止と成った。研修旅行に於いては、1年生が見学予定イベントそのものが中止と成り、2年生は本人及び家族へのアンケート実施により行ったが、参加率は50%であった。

そのような中で、学生が最も楽しみにしている富士メカGPは実施タイミングを新型コロナウイルスの感染状況を見ながら実施日を変更し、無事実施しすることが出来た。

4. 防災実施内容

訓練日時 令和1年9月1日9時10分～10時45分

訓練内容 避難訓練(経路・場所確認)・消化訓練(ニッセイ防災水消火器使用)

反省点 計画どおりの実施と効果確認ができた

5. 設備の状況

数年前より時々故障していたガスによる冷暖房空調機を全機一斉入れ替えを行い、非常に快適と成った。

又、コロナ禍での換気を行いながらの使用に於いても旧機を上回る性能確保が出来た。

教室の換気に付いては、二酸化炭素測定器を購入し、厚労省の推奨する二酸化炭素濃度1000ppm以内に収まるよう計画換気を行った。

マスクを外した昼食時に対面と成ることを防止するため、ロビーに設置した丸テーブルの使用を中止、3人掛けベンチに付いては、中央席を利用しない旨の張り紙と周知を行った。

アルコール消毒に付いては、登校時入り口に計3本のスプレーを設置、各教室にも4本から6本を設置し、授業終了タイミングでドアノブや窓枠などの消毒を行った。

職員用給湯室の電気温水器より水漏れが発生。本体内部の腐食によるもので、交換工事を職員が行い交換を実施した。

6. 修理修繕の状況

停電等の非常時に避難経路を示す誘導灯のバッテリーが弱ってしまい寿命と成っていたが、本年度本館は全て交換を行った。

別棟倉庫の火災報知器センサーが豪雨により配線ダクトから漏水し、誤発報をしたが、センサーの交換と取付位置の変更による修繕を行った。